

安全だより

無事故・無災害を目指して

2022年度(令和4年度)第2号

発行日：2022年(令和4年)8月25日
 発行：福山市新涯町二丁目21番30号
 公益社団法人福山市シルバー人材センター
安全委員会
 TEL (084) 953-5222
 FAX (084) 953-5233

- ☆安全対策重点項目
- 【9月】高所作業、脚立の取扱は就業基準に沿った作業を心掛ける。
 - 【10月】安全帽、安全帯の装着を確実にする。
 - 【11月】十分な作業計画を立て、障害物は撤去する。

●事故発生状況

◎賠償事故	(賠償額)
①	5月17日(草刈作業)「飛散事故」(20,900円) 自走式草刈機を使用中、小石を飛散させ、施設の窓ガラスを破損させた。施設職員が数日後に発見し、センター作業によるものと判明した。
②	5月25日(伐採作業)「転落事故」(28,600円) 山畑の斜面に生えている柿に落下防止のロープを掛けずに枝を切断したため、枝木が斜面を転がり落ち、斜面下にあったカーポートの亚克力板(屋根)を破損させた。
③	6月2日(草刈作業)「飛散事故」(778,610円) 草刈作業中、道路の通行車両に対して小石や砂を飛散させ、車両右側面のボディ及びガラスを損傷させた。飛散防止対策はされていなかった。
④	6月9日(剪定作業)「接触事故」(70,574円) 剪定作業中、庭に設置されているガーデンライトに接触し、ライト上部のガラスカバーを地面に落下させ破損させた。
⑤	7月26日(草刈作業)「飛散事故」(9,735円) 草刈作業中、小石を飛散させ、隣接する住宅の窓ガラスを破損させた。飛散防止ネットは設置していたが効果的でなく、ネットの隙間から飛散したと思われる。

◎傷害事故

①	6月23日(除草作業)「虫刺され事故」 除草作業で発生したゴミを回収していた際に右手親指を虫に刺され腫れたため通院した。
②	8月16日(屋内清掃作業)「転倒事故」 屋内清掃作業中に、ゴミ箱に接触した拍子につまずいて転倒し、左足膝蓋骨を骨折した。

今年度発生した事故は記載のとおり、賠償事故5件、傷害事故2件となっています。

賠償事故の①、③、⑤は草刈機による小石等の飛散事故で、中には飛散防止対策を講ずることなく作業をして、事故を起こしている悪質なケースがありました。このため、就業グループ全員に事務所に集まってもらい、基本的かつ十分な安全対策を講じ、今後このような事故を起こさないよう厳重に注意・指導をしました。また、飛散距離については50m以上飛散したデータもありますので、離れていても油断することなく飛散対策を講じてください。

②の伐採作業によるカーポートの破損事故は切断した枝木側に落下防止のロープを掛けていれば防げる事故です。また④のガーデンライト破損事故も、事前にライトの位置はわかっていたはずなので、ライトの近くではより慎重な作業をしていれば防げたものと考えます。

『基本的な安全対策を
遵守しましょう!!』



●「安全就業実施中」の^{のぼり}幟旗

安全就業及び啓発活動の取組みとして、「安全就業実施中」の幟旗を各グループに配布・掲出いただいています。現在お持ちでないグループや長期間使用して破損等している場合(支柱を含む)は、センターで新しいものを配布しますので、ご一報のうえ、事務局(本部・北部事務所)まで取りにお越しください。

●ヘルメット(保護帽)について

草刈班や剪定班には、現在ヘルメットを貸与しておりますが、このヘルメットにも、安全基準に基づく耐用年数が設けられています。具体的には、材質がFRPの場合耐用年数が5年、材質がABS、PC、PEの場合耐用年数が3年となっています。ヘルメットの内側に貼付されている検査シールを確認いただき、耐用年数を経過している場合は、新しいものと取り替えますので事務局まで取りにお越しください。なお、その他の業務でも必要な場合は貸し出しますので気軽に申し出てください。

●就業途上・帰途の交通事故

就業途上・帰途の事故は、必ずしも本人に責任が無い場合もありますが、自動車などの運転操作に当たっては、交通ルールを守ることはもちろん、自らの能力を過信することなく、周りに十分な注意を払ってください。

来月の9月21日(水)～30日(金)は、「秋の全国交通安全運動」の期間です。引き続き、交通安全・事故防止に努めましょう。



●ハチ刺されに注意

裏面の「傷害事故」①にもありますが、11月頃まではハチ刺されに注意が必要です。

特に、スズメバチは9月～10月が一番活発な活動時期になるため、次のことを参考に対応してください。



【予防】

- 長袖・長ズボンを着用し、露出部分を少なくする。
- 黒色は避け、白や黄色の服装・帽子を着用する。
- ハチの巣には近づかない。
- ハチから警告(周辺を飛ぶ・あごをカチカチ鳴らす)を受けた場合、ゆっくり、静かに後退する。
- 攻撃されたときは、追い払うと余計に興奮させることになるため、慌てず静かに立去る。
- 虫刺されの薬、殺虫スプレーを携帯する。

【刺された場合】

- 刺された場所から離れる。
- 刺された箇所周囲を強くつまみ、毒を絞り出す。
- 流水等で水洗いし、タオル等で冷やす。
- 患部に虫刺されの薬を塗る。
- 医師の手当てを受ける。(発疹、流涙、せき、嘔吐、下痢の症状がみられる場合は至急!!)

●ヒヤリ・ハットの報告について

当センターでは、就業報告書の裏面に安全適正就業チェックシートによる報告に合わせて、ヒヤリ・ハットの記載をお願いしています。

ハインリッヒの法則によりますと、1件の重大事故の背景には、29件の軽微な事故があり、さらに300件の事故につながりかねないいわゆる「ヒヤリ・ハット」事象があるとされています。

事故の撲滅には「ヒヤリとした」・「ハットとした」原因等を究明し、必要な対策を講じることが大変有効です。

就業報告書の提出に当たっては、安全適正就業チェックシートを漏れなく記載し、該当がある場合はヒヤリ・ハットについても必ず報告してください。

ハインリッヒの法則

